



発行元：株式会社サポート・ワン・サービス
愛知県津島市愛宕町四丁目113〒496-0036
代表TEL：(0567) 26-3921
FAX：(0567) 26-3922
ホームページ <http://www.s-o-s.co.jp>

利用状況案内板 (☆募集中 ★満員)

- ☆ナイス・ケア(定員なし)
 - ☆ナイス・デイ (定員10名/日)

日	月	火	水	木	金	土
6	4	5	6	6	6	5

 - ☆ナイス・ホーム(登録者19名/定員21名)
 - ☆愛宕の家(入居者14名/定員17名)
 - ☆つしま紹介所 ☆ナイス・キッズ ☆打太鼓
- ～上記を参考にご利用ください～

《3月予定》

- 1日ひな祭り餅つき
- 10日外食DAY
- 20日避難訓練
- 26日誕生日会

※不定期行事
その日の天気や意欲等の状況で判断し外出先一覧を参考に社会生活参加しています。

日々感じること…《2月号より続く》

長男息子の散髪。バリカンが嫌だと言い張るからハサミを持って近寄る。私も平気な振りして内心、ドキドキ。それが伝わるのか、後退り～でも、何とか可愛く切れたじゃん！次男息子はつかまり立ちを始め、視界の変化が嬉しそう。さて2月号からの続きを紹介～『人間は、往々にして自分の見たことしか信じることができない。胃ろうが、無意味な延命治療のための道具として使われているように見える患者をたくさん診ている医師が、本を出版したり、講演をして回っているのは、現実にもそういう姿を目の当たりにしているからなのだろう。しかし、そういう患者をそういう姿にしている責任の一旦は、自分達にあることを忘れてはなるまい』次号に続く。看護師<M・T>

想いと役割

今まで全く介護に関わっていなかった家族が、急に介護を始める事になる。何がなんやら、どうしていいものか想像もつかないというのが正直なところではないでしょうか…。

Nさんの息子さん家族も急に介護に直面することになりました。

夫が妻(Nさん)の生活全般を支えていた。しかし、夫が急死。直後からNさんの介護に困り、緊急ショートも利用したものの、限界がある。そんな時、息子さんは、前任ケアマネから、「小規模多機能なら何とかかなるかも？」と制度説明を受けた。登録し、喪が明けるまでの慌ただしい期間は通いと泊まりの連続利用を勧めた。

息子さんは連日のようにホームに足を運び、母の介護を・生活をどうしたものかと考えながら過ごす日々が始まる。最近では、やっとNさんの様子が理解できるようになってきた。息子さんは、『家に帰りたい。』というNさんの意向を尊重し、とりあえず、休日と一緒に自宅に帰りNさんがひとりの時間を過ごすことが出来るのか練習を開始。同時に、介助方法・自宅で過ごすための支援方法を一緒に考えている。試行錯誤している中、Nさんは「一人で家におれる！」家族は「やはり一人で置いておくのは心配…」と、双方の想いは異なる。

私たちが出来る事とは…、Nさんが納得して過ごせるように状況を見極め、息子さんへ情報提供し上手な制度活用を提案しながら、共に歩んで行くことだと考えている。ナイス・ホーム<Y・O>

4コマ漫画

子どもの発想って本当におもしろい♪ 昨年から、興味を示している4コマ漫画の本がある。気付くと見よう見まねで4コマ漫画を書いて見せてくれるようになった。これがまた、それなりに起承転結があって面白い。大人の私が読んで、くだらないながら面白い。どうせなら、皆の目に触れるようにして張り切って書いてもらおうじゃないか！ということで…、今月より、キッズの4コマ漫画を掲載してもらいました。いつまで続くかは分かりませんが、お楽しみ下され ナイス・キッズ<R・W>

元気な声が聞きたいわ！

今年、愛宕の家で一時的に、インフルエンザが発生したが、みんな見事に回復しました。こんな時に感じるのが日々の栄養状態の維持と基礎体力作りの大切さです。

日常の小さな変化も見逃すことのないように、目配り気配りをして、今日を生きていることに張りを感じて頂けるような生活を創るために、看護者・介護者ともに力を合わせていくことが大切だと思う。

寒さも後しばらく。今は室内で行っている体操も暖かくなったら外へ出て元気な声と共に身体を動かしたいと思っています。喜怒哀楽豊かな入居者さんの元気な声は健康のバロメーターです！

愛宕の家<T・Y>

信頼されるヘルパーに…

12月に入社して早3ヶ月、それまでに多少の経験があると言っても、新しい職場で、自分にとってははじめての利用者さんのお宅へ伺うのは、毎日がハラハラ・ドキドキの連続だった。最初の頃は、家に帰ると夕飯の支度もそこそこに横になっていたのを思い出す。まだ訪問回数の浅い利用者さん宅で、勝手にわからずウロウロしていたりすると『あんたプロだろ！』と言われたり、手順が悪かったりすると利用者さんの顔が怪訝な表情になったり、自分でもこの仕事をやっていけるのだろうか不安に思うことが幾度もあった。利用者さんとの会話も、相手に不安感を抱かせることを無意識に話していたこともあったようで、後で注意を受け、自分の、仕事に対する甘さを思い知らされる時もあった。介護技術もまだまだ未熟で、利用者さんに対して、心の中で申し訳なく思っている自分がある…が、少しずつ前に進み、信頼されるヘルパーになれる様、努力したい。ナイス・ケア <H・A>

デイサービスでの過ごし方

数年前には考えられなかった光景が、今は当たり前にある。朝、外を走る車には〇〇デイサービスと書かれ、中には揺られる人影。現代社会で介護を担う家族の負担は大きく、「日中だけでも介護から解放されたい」と思って当たり前だ。

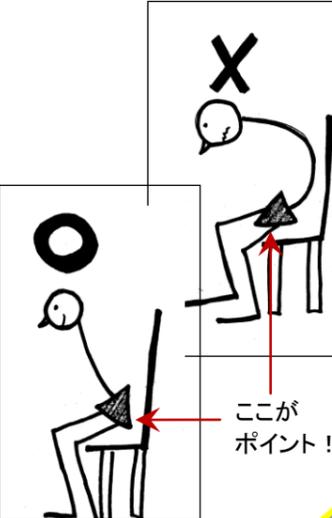
よくあることかもしれないが…、朝の迎えの際、出掛けることを拒まれるときがある。年老いて、何故、朝っぱらから連れ出されなくてはいいかんのか？自分の家(自宅)が落ち着く場所なのに…。

そんな時、こちら側の対応はどうすればいいのだろうか？家族の意向を踏まえた上だが、何だかんだと話しをしながら車に乗ってもらい、好みに合わせ内容を変更したり、ほぼマンツーマンであの手この手と気を紛らわせ1日を過ごしてもらうこともある。いかに過ごしやすい場所を提供できるか…試行錯誤の繰り返しである。 ナイス・デイ<H・O>

*** 介助をスムーズに行うためのワンポイントアドバイス ***

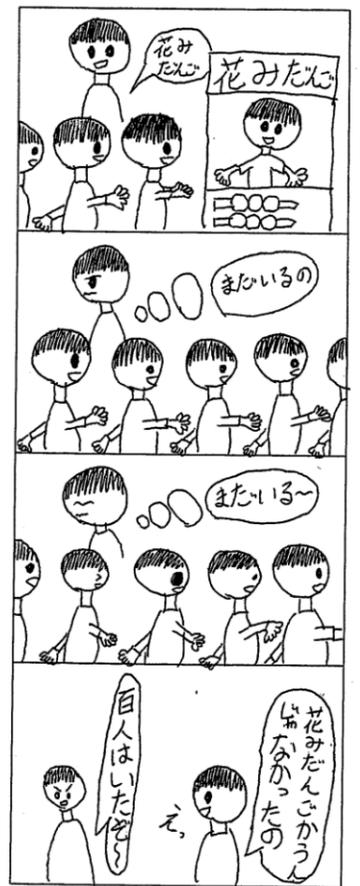
- ①おしりを前に持ってくる
 - ②足を手前に引く(膝を90°以上曲げる)
 - ③体幹の前屈をしっかり引き出す。
- 立ち上がりには、一番大事なのがこれ！

立ち上がる為には、体の重心を前に移動(お辞儀動作)させなければなりません。この時にお辞儀できているように見えても、骨盤が後ろに倒れたままの人がいます。骨盤が後ろに倒れていると、いくらお辞儀をしても立ち上がりできません。骨盤を前に傾けるようにお辞儀を誘導してあげると立ち上がりはスムーズになります。骨盤の動きを意識することはとっても大事です。1度お試しください。(U・I)



編集後記 介護保険を利用するにあたっては、守らなければならない法令がいくつかあります。また、それに伴って書類作成も必要になってきます。書類と聞き、始めは「現場には必要ない。」と思っていました。しかし最近、計画書などについて学ぶ機会があり、重要性に気付かされました。関わるスタッフが同じ情報を共有できる事。同じ目的で援助に当たれること。……その土台になるものが書類であると…。書類にしっかり意味がありました。もっと活用して、現場に活かせるようにしましょう！！ <Y・O>

わすれた



KID全員が4コマ漫画を描き、その中で選りすぐりの一枚を大人が選び掲載することになりました。小学1~3年生の子達が描いています。次月もお楽しみに♪